

TOPICS 2

6月定例会で私は議員選挙を経て、**第91代副議長**へ選出いただきました。ここではその職務の一端をご紹介します。

副議長の役割とは

議長の職務代行者

議長が出張や病気などで職務を行えない際の代行者としての職務を行います。

議長の補佐

議長は議場の秩序を守ること、会議の進行を管理すること、議会の事務を取りまとめることなど、円滑な議会運営が役割として求められます。これら補佐を行います。

◎実際の職務をまとめると5つに大別できます

会議の進行…年4回の定例会のうち本会議場での議員質問のうち、**議長席での進行管理**の約半分を副議長が行います。また3月・9月の**予算決算委員会**では副議長が**委員長職**を行います。

各会派の調整役…各会派の幹事長が協議する**幹事長会**で提案される議題について、事前や事後に意見集約を行い、どんな順序で審議していくか等、円滑な議会運営のための調整役を果たしています。

議会内の各種会議出席…市議会では5つの常任委員会のほか、議会運営委員会、広報広聴委員会、行財政改革に関する特別委員会が存在します。副議長は属している所管の常任委員会以外であっても**委員外議員として出席**を求められており、議会運営の立場から公務等と重なる日程以外はすべての会議に出席してきました。

庁内協議…議会事務局職員との議会運営等の打合せの他、市役所内の担当部署の職員から重要な事業内容の説明などを正副議長で説明を受けます。

各種行事出席…議長が出席できない場合に**職務代行**として一例としてこれまで下記の写真のような行事に出席しました。



姉妹都市である郡山市を訪問し、第60回郡山うねめまつり奈良市親善使節団を代表して挨拶(24年8月福島県郡山市庁舎にて)



采女祭にて郡山市親善使節団の皆様を時代衣装でお迎え(24年9月JR奈良駅前)



長崎へ原爆が投下された日に平和への祈りを込めて平和の鐘 撞鐘をさせていただきました(24年8月 市役所屋上にて)



中核市議会議長会 相談役市として同会長他役員と総務省 原審議官(前消防庁長官)へ来年度予算要望活動(24年10月 総務省にて)

市政へのご相談など
ございましたら、
副議長室へ
ぜひお越しください！



副議長 太田 晃司

市政報告

あをがき通信

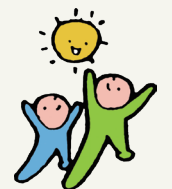
Vol.22



夢づくり、
安心づくり、
奈良づくり

奈良市議会議員

太田こうじ



令和6年9月定例会のご報告

平素より私の政治活動に温かいご理解を賜り誠にありがとうございます。国政においては第50回衆議院議員総選挙が10月末に執行され、自民・公明両党による獲得議席が過半数を割り込む結果となり、安定的な政権運営が難しい状況となっています。国内外ともに国難と言われる時代だからこそ、目指すべき目標に向かって政策ごとに是非を議論を重ねて大同団結で難局を乗り越えていく姿勢が必要なのではないでしょうか。

地方政治においても地方財政計画における地方交付税が各地方自治体へどのように配分されるのかなど、安定的な国からの支援を引き続き受けられるように注視していく必要があります。

さて市議会では8月30日に議案説明が行われ、9

月30日閉会日まで、約1か月間にわたり9月定例会が開会され、令和5年度一般会計決算の審査、今年度補正予算など各種議案の審査が行われました。

結果、令和5年度一般会計予算は決算不認定(奈良市政で初)のほか、令和6年度一般会計補正予算(第3号)は2億860万円の減額修正、佐保小学校建て替えに関わる債務負担行為の増額12億円に係る議案は否決という厳しい議会議決をさせていただくこととなりました。

今号では上記の概要を紹介しています。私は6月定例会で副議長に選出をいただき、当面は議会運営に集中する立場となりましたが、市民の声を大切に引き続き議会活動に取り組んで参る所存です。

●経歴 昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒、関西学院大学法学部卒。
平成25年(2013年)7月より奈良市議会議員(現在3期目)
自由民主党会派に所属、奈良市議会第91代副議長、市民環境委員会委員。

●連絡先 奈良市議会議員 太田晃司事務所
〒631-0033 奈良市あやめ池南5丁目2-18
TEL: 0742-40-5015 FAX: 0742-40-5016
Mail: info@otakoji.net

太田こうじ公式サイト

これまでの市政報告はホームページの書庫からご覧いただけます。

<https://www.otakoji.net>



各種 SNS でも情報発信しています！



フェイスブック公式ページ
<https://m.facebook.com/otakoji.nara>



Ameba 公式ブログ
<https://ameblo.jp/otakoji-nara/>



フェイスブック公式ページ



Ameba 公式ブログ

9月定例会

9月定例会では、自民党、公明党、日本維新の会等の多数により、以下の議案については不認定、減額修正、否決等の議決を行いました。

TOPICS 1

賛成多数で否決または減額となった議案

・令和5年度一般会計歳入歳出決算	不認定
・令和6年度一般会計補正予算（第3号）	以下を減額修正
防災対策施設整備事業（鴻ノ池運動公園の防災機能強化）	4340万円
観光客誘致対策経費	1500万円
児童福祉施設整備事業（高の原エリアでの子育て広場遊び場ワークスペース整備）	1億5020万円
・令和6年度一般会計補正予算（第4号）	否決
債務負担行為補正（佐保小学校校舎建設事業）	12億2400万円

私が所属する自民党会派がこのような議決を判断した理由については1面掲載の公式ブログから詳細をご覧ください。今回はそのうち決算不認定の要約について記載をさせていただきます。

決算不認定の理由について

1点目に仮称飛鳥地域ふれあい会館整備事業の予算執行について

飛鳥公民館を廃止し、ふれあい会館を新設する方針でしたが、地域や議会から拙速との声が上がリ、議会では請願書まで提出されています。そのようななか、進められていたふれあい会館建築設計業務を中止するなど、地域自治を支援する側の行政として不要な混乱を地域に招いたことが理由として挙げられます。

2点目に庁舎等施設整備事業（ZEB化）について
ZEBとはネット・ゼロ・エネルギー・ビルのことを指し、快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物です。そのなかでも奈良市はZEB Readyを目指そうとしています。

ただ、国の補助金を年度内に充当するために2714万円の当初予算額に対して、予算現額が1億8607万3千円に膨らみました。その問題点として、第一に予算の設計段階での甘さがあり、事業者から指摘をされ検証後このような額に膨れ上がったこと、第二として担当課以外の他課から多額の流用や配当替えを行う予定で事業を進めようとした点が挙げられます。さらには結果的に繰越額が1億7000万円にもものぼっていることも見過ごせません。なんのための流用だったのか、と指摘も免れないと思います。

CHECK!

決算不認定は議会が市に対して公正公平、適正な予算執行を求めるという強い意思の表れです。執行後の予算については、影響はありません。しかし、市長が改善策など必要な措置を講じた場合、すみやかに議会へ報告、公表することが求められています（地方自治法233条7項）。

市議会では令和5年11月から議会広報紙である「奈良市議会だより」の紙面編集を見直し、本市が抱える重要課題をクローズアップして取り上げています。

市議会が判断した令和5年度一般会計の決算不認定については市議会だよりでは取り上げているものの、奈良市発行のならしみんだよりには取り上げられていないのが現状です。しみんだよりにおいても毎年5月号の予算、11月号の決算の特集においては議会の重要な指摘事項については掲載をしてくとも求められるのではないのでしょうか。



11月発行のならしみんだより（右）と奈良市議会だより（左）

TOPICS 2

新クリーンセンター建設に関わる 議員会発足

老朽化が著しい環境清美工場の移転候補地について奈良市は諮問機関として奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会を設置しています。これまで同委員会が点数評価で高評価とした最終候補地・中の川地域について奈良市が交渉を地域へ持ち掛けるも断念、また周辺5市町との広域化を検討する勉強会に参加するも奈良市以外の市町が勉強会離脱により断念となっています。

その後、仲川市長が進める七条地区の候補地案に対して、策定委員会は「見守る」とし、七条地区案についての委員会採決で可決。本来奈良市へ提案すべき立場の諮問機関としての役割を健全に果たしていない状況となっています。一方で、市議会では地域住民の理解が十分に得られていないこと等を理由に令和6年3月定例会では関連予算を否決しています。

市議会では理論的に反対理由を示しているものの、同時に議員独自の調査や提言もしていくべきではないかとの声もあり、「ごみ焼却施設及びリサイクル施設整備調査委員会」を9月に設置し、現在23名の議員が参加しています。

10月には25年春に運用開始を予定している10市町村による広域ごみ焼却施設のこれまでの取組状況を伺うため、建設予定地である天理市を訪れました。天理市・並河市長による説明の中で「地域住民に対して、どこまでも不安に寄り添う」姿勢を示してきたと、63回にわたる市長出席のもとで住民説明会が行われた報告がありました。ひるがえって、奈良市の市政運営に反省すべき点は多々あると考えます。

建設策定委員会は今年度、委員会が過去に絞り込んだ複数の候補地について、現在の環境と条件が異なっていること等も含めて再度、場所や条件等の議論を行うとしています。行政、議員、住民が一体となることが必要であり、私も同施設建設の一日も早い推進に向かって力を注いでまいります。



天理市庁舎にて10市町村による新ごみ処理施設の進捗よくを伺う

市政情報

TOPICS 1

道の駅「クロスウェイなかまち」が開駅

11月30日に道の駅「クロスウェイなかまち」が開駅されることになります。奈良県が事業主体ですが、同施設の観光案内所では周辺観光地の観光情報案内も予定されており、奈良市の西の玄関口としての位置づけが期待されます。

また同施設は第二阪奈道路「中町」ランプ近くであり、日本最大の円墳である富雄丸山古墳を徒歩で訪れることができます。2028年度には「（仮称）奈良市文化財センター」の一部利用開始を目指し近隣に建設を予定されており、同古墳で発見された古代東アジア最大の「蛇行（だこう）剣」や類例のない盾形銅鏡の保存・展示、現埋蔵文化財調査センター（大安寺西）で収蔵している遺物の移転先の保管場所として期待されています。

県と市、また文化財と観光の各課連携のもと奈良市西部の魅力が増すよう、私も引き続き議会から意見してまいります。



道の駅「クロスウェイなかまち」（県土マネジメント部より抜粋）



奈良市文化財センターの整備予定地（奈良市文化財センター建設基本構想より抜粋）